

第5回 DAAS運営委員会

日時:2008年4月25日(金) 午後2時~4時

場所:東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学三田キャンパス東館4階G-SEC セミナー室

[審議・報告事項]

○収支予算執行(案)確認と承認の件

議案1 2007年度 収支予算執行(案)訂正の件 <資料1>

○2007年度 活動計画・活動報告の件

議案2 DAASコンテンツ有償利用の整備 <資料2>

議案3 DAASコンテンツ整備に関する件 <資料3>

○ その他

・法人化について

・企画立案への参加要請 <資料4>

・表彰作品のデジタル化収録について <資料5>

〈資料1〉

平成20年4月25日

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム
2007年度 収支予算執行案

2007年10月1日から 2008年9月30日まで

(単位:円)

科目	予算案	執行案	理由・内訳等
I 収入の部			
1 会費・入金収入	¥12,270,000	¥11,610,000	
企業会員	¥11,040,000	¥10,380,000	(未収会費36万を含む)
団体会員	¥1,200,000	¥1,200,000	
学術・教育機関会員	¥30,000	¥30,000	
個人会員	¥0		
2 事業収入	¥0	¥30,000	
コンテンツ有償利用代	¥0	¥30,000	
3 その他収入	¥0	¥9,564	
受取利息	¥0	¥9,564	
雑収入	¥0	¥0	
当期収入合計(A)	¥12,270,000	¥11,649,564	
前期繰越収支差額	¥3,151,333	¥3,151,333	
収入合計(B)	¥15,421,333	¥14,800,897	
II 支出の部			
1 事業費	¥8,100,000	¥7,640,000	
WEBサイト改修委託費	¥3,000,000	¥3,000,000	
イベント事業費	¥1,100,000	¥1,100,000	枠外参照
コンテンツ整備事業費	¥4,000,000	¥2,040,000	枠外参照
修繕引当金繰入		¥1,500,000	
2 管理費	¥6,420,000	¥6,663,990	
事務局委託費	¥4,700,000	¥4,880,000	
会議費	¥50,000	¥50,000	
旅費交通費	¥500,000	¥500,000	枠外参照
通信運搬費	¥150,000	¥150,000	枠外参照
機材費	¥100,000	¥100,000	
消耗品費	¥300,000	¥250,000	会計士相談料増額分を減額
雑費		¥840	
手数料		¥3,150	
総会運営費	¥170,000	¥170,000	
弁護士相談費	¥300,000	¥300,000	
会計士外部委託費	¥150,000	¥200,000	4月～10月の顧問相談料20万を予定
租税公課	¥0	¥60,000	掲載企画執筆依頼分の源泉徴収額を追加
3 予備費	¥901,333	¥496,907	
当期支出合計(C)	¥15,421,333	¥14,800,897	
当期収支差額(A)-(C)	¥-3,151,333	¥-3,151,333	
次期繰越収支差額(B)-(C)	¥0	¥0	

注)この予算書は消費税込みで計算しております

▪ イベント事業費 予算減額案 内訳		
	卒業設計大賞2007表彰者交通費	¥123,470
	卒業設計大賞2008実施予定額	¥130,000
	イベント費（1回）予定額	¥750,000
	イベント用 予備費	¥96,530
		<hr/>
		¥1,100,000
	※事業費：外部の人が関わるものをイベントとし、フライヤー送付などもイベント費に含める	
▪ コンテンツ整備費で今後予定される費用 内訳		
	リレーコラム1万×6本=	¥60,000
	慶應（Now & Thenツアー）月1更新×2	¥120,000
	その他 ドメイン費用	¥20,000
	DAAS VIDEO 撮影費	¥1,600,000
	ぼむ企画連載企画（3万+1万取材費）×6本=	¥240,000
		<hr/>
		¥2,040,000
	※その他 褪色写真の補正費用をコンテンツ整備費より執行予定	
▪ 業務委託費 予算増額 内訳		
	事務局 人件費増額（1年）	¥1,000,000
	秘書代行サービス（1年）	¥180,000
	予算額	¥3,700,000
		<hr/>
		¥4,880,000
▪ 会議費 予算減額		
	前年度決算金額（関係機関を利用したため）	¥0
	予備費として	¥50,000
		<hr/>
		¥50,000
▪ 旅費交通費 予算増額 内訳		
	事務局 中田氏往復交通費（22,700/月 ×12回）	¥272,400
	運営委員 交通費（30,000 × 4回）	¥120,000
	その他交通費	¥107,600
		<hr/>
		¥500,000
▪ 通信運搬費 予算減額案		
	前年度決算金額	¥54,475
	予備費として	¥95,525
		<hr/>
		¥150,000
▪ 総会運営費 予算減額案 内訳		
	10月26日 総会 都市センターホテル 会場費	¥158,130
	総会用備品購入代金	¥3,887
		<hr/>
		¥162,017

<資料 2>

平成 20 年 月 日

パルス・クリエイティブ・ハウスによる新建築社の褪色ポジをデジタル化した
DAAS 収蔵写真の利用について(案)

新建築社（以下、甲とする。）とDAAS（以下、乙とする。）は、甲の所有する建築写真の褪色ポジをデジタル化したもの（当該写真に係る建築名などのテキストデータを含む。）で乙が収蔵している写真データ（以下、収蔵データという。）を、パルス・クリエイティブ・ハウス（以下、丙とする。）による出版物への利用を認めるにあたり、以下のように合意する。

1. 乙は、丙者から収蔵データの利用を求める申し出があった場合には、丙が甲の了解を事前に得ている場合にのみ、甲に確認の上、利用を認めることとする。
2. 乙が、丙に対し、実費を勘案しつつ、今後のさらなるデータ保全等、乙の活動費用を確保するため、利用料を求めることについて、甲は了解する。
3. 乙が丙に対し収蔵データの利用を認める場合は、データに電子透かしが入ったものに限り認めること及び丙が利用時に申請した利用目的以外に使用しないことについて乙との利用契約において明確にし、甲はそれを確認すること。
4. この他、収蔵データの丙の利用に関して、甲及び乙は、必要に応じ、誠実に協議するものとする。

（甲代表）新建築社社長 吉田信之 印

（乙代表）DAAS理事長 榎 文彦 印

(事実関係等の補足説明)

【1. について】

- ・ 新建築社は、自社において保有する大量の褪色ポジの保全が困難であることから、社会的意義の高い建築写真について、公的なデジタル化保全の実施を国に要請した。
- ・ この要請を受け、国土交通省が意義を評価し、新建築社から貸与された褪色ポジについて、デジタル化し、色調補正を行う業務を(財)日本建築センターに委託して収録データを作成した。褪色ポジは新建築に返却された。
- ・ 国の(財)日本建築センターへの委託契約において、収録データの作成に関し、作成関係者の私権の設定は認められていない(収録データ作成において新たな権利を得た第三者はいない)。
- ・ (財)日本建築センターは、コンテンツバイドール手続きにより、国に成果物である収録データを納品せず自ら保有し、その後、国の許可のもと当該データを DAAS に譲渡しており、現時点で、DAAS が国の委託の成果物である収録データを占有している。
- ・ 一方、新建築社は収録データの元となった褪色ポジに係る著作権を有している。この著作権は収録データに及ぶ。
- ・ 1. については、この著作権に基づく新建築社の許諾を、収録データを利用しようとする第三者に対し、事前に求めるものであり、許諾に際しての著作権使用料等の設定は新建築社の判断による。
- ・ 新建築社の褪色ポジに関する著作権は、褪色ポジが完全に消失しても、新建築社の出版物等において継続しており、著作権期間の満了まで新建築社に存すること、また、国費の成果物である収録データは国の管理下にあること等から、収録データの国費による整備が、新建築社の著作権等の資産の保全・形成に新たに寄与した事実はない(もともと消失するはずの私企業の権利を国費により延伸させたという批判はあたらない)。
- ・ 新建築社は、DAAS がウェブ上で解像度を下げた収録データを公開・閲覧させること及び DAAS 自らの活動において収録データを利用することについて、著作権に基づく主張はせず無償で認めてきており、また、国費による収録データの作成時における褪色ポジの貸与に係る所有権等に基づく費用の請求等を行っていない。

【2. について】

- ・ DAAS は、当初より、収支計画等において収録データの提供による利用料収入を想定し、設立総会等においても報告してきている。
- ・ 利用料の設定にあつては、4. において、利用者が個別の利用時に改めて別途デジタル化することを不合理としていることに鑑み、実費を勘案することとしている。
- ・ 2. は、DAAS が受領する利用料の用途(今後のさらなるデータ保全等)を明確にすることで、DAAS の収録データの利用料収入に対し、新建築社が、収録データに関して有している著作権の主張をしないことを意図している。

- ・ 実費を勘案した DAAS の受領する利用料は、当面の間、一点 1 万円（会員の場合 5 千円）とする。

【3. について】

- ・ 収蔵データが流出することは、収蔵データの所有権等を持つ国及び DAAS と著作権者である新建築社双方にとって損失であり、その対策について両者が合意して進めるための規定である。

【4. について】

- ・ 両者の誠実な協議は当然であり、確認的に規定したものである。

日本建築写真家協会会員有志+DAAS 事務局との意見交換会

日 時： 2008年2月22日 10:30~12:00

場 所： BCJ 4A 会議室

出席者： 日本建築写真家協会 小川泰祐 高井潔
DAAS 事務局 高見真二 中田千彦

写真家小川氏と高井氏へ DAAS からの提案書に沿ってヒアリングを行った。小川氏、高井氏からの意見は以下

- 日本建築写真家協会はウェブを使った写真家の紹介、仲介のようなビジネスや活動を行ってはいない。
- 建築写真家でも様々な種類の写真を専門としている。(例：インテリア、竣工写真、ハウスメーカーの住宅、等々)
- 建築写真家に建築写真の撮影を依頼して DAAS オリジナルの収蔵コンテンツを増やすというのは、とても理想的だが現実には困難。建築写真のクオリティを高めるという意味では、竣工事に撮影するほかない場合も多い。
- 前述の写真は、瞬間を伝える報道写真になってしまう。建築写真としてではなくて、報道写真を撮るとするのも面白いかもしれない。一過性のものでなく、継続していくとしたら意味がありそうだ。
- DAAS に写真家リストを掲載し作品写真のサムネイル画像程度のものを DAAS に提供する案については、DAAS にどれくらい魅力があるのか、またそのアクセス数にもよると思われる。
- 他の協会とも連携しているプロジェクトがあり、DAAS と似た提案をしてきている。DAAS の将来ビジョンが明確になれば、ほかからの反応も良くなるのではないかと。
- 当初の DAAS キックオフのころよりだいぶ分かりやすい状況となってきた。
- DAAS で紹介することは良いと思う。建築写真家にとって、見てもらうための窓口があるということは歓迎すべき。
- 協会メンバーでない写真家には個別にお願いをする必要があると考えられる。
- 協会に持ち帰ってこういった話の是非を議論しても、具体的な進展は期待できないかもしれない。それぞれ個別の意見や問題があり合意を得るということは難しい。むしろとりあえずやってみて、問題が発生したらそれを解決するということが、今必要なのではないか。

今回の DAAS からの提案について、小川氏より建築写真家協会のメンバーに呼びかけして頂くこととなった。次回打合せを5、6月に予定しており、DAAS からはウェブページのテストページを用意する予定。写真家協会からは、協力者リストを提示してもらうこととなった。

建築写真家協会との意見交換用メモ
2008.2.15 DAAS 事務局

建築写真家の所蔵写真の DAAS における紹介等について
(建築写真家と DAAS の連携のあり方 (イメージ))

0. DAAS とは

Digital Archives for Architectural Space consortium (DAAS : ダース) とは、国内の主な建築関係団体及び企業等の有志により、建築関係資料のデジタル化による保全と活用等を目的として、組織化された団体である。(現在は任意団体であるが、公益法人制度の改正後に法人格を取得予定している。)

1. 主旨

優れた建築物、建築写真を広く紹介するという目的の一環として、DAAS ウェブを活用し、写真として優れ、かつ、建築設計実務、研究等に有用な建築写真の所在を明らかにすることで、その利用希望者の便宜を図る。併せて、著作権者の利益に資するよう、利用者と著作権者の橋渡し等を行う。(エージェントとしての役割)。

2. 企画イメージ

(1) 写真家及びその収蔵写真の紹介

- DAAS のウェブ上に、建築写真家のコーナーを設け、写真家名を紹介するとともに各写真家が収蔵する(写真家が紹介したいものに限る)建築写真のリスト(建築物名、設計者名等)を掲載する。リストには、可能な限りサムネイル版の見本を掲載する。
- リストにある写真の実物の閲覧・利用を希望する者は、DAAS に連絡し、DAAS から当該写真を収蔵する写真家を紹介する。(写真家の要請があれば、申し込みの取り次ぎ、料金の授受等、写真提供に係る事務サービスを DAAS がエージェントとして提供する。)

(2) 写真家収蔵写真のデジタル化

- 建築写真家の要請に基づき、写真家の保有する建築写真で劣化しつつあるもの等を DAAS の費用負担によりデジタル化して保全する。(DAAS の

費用でデジタル化したものについて、利用希望者が現れた場合、写真家に支払われる著作権料の他に、DAASにも一定の料金の支払いを求めることを想定。）

(3) DAASによる建築写真の撮影

- 日本の優れた建築物を紹介するという DAAS の本来事業の一環として、DAAS の予算で建築写真家に建築物の撮影を依頼し、そのデジタル写真を収録、公開する。写真家に著作権を残すケースと、残さないケースなど契約のあり方については信義に基づき十分協議する。

(4) 建築写真家協会との連携

- 上記(1)から(3)の企画に関し、建築写真家協会の活動として位置づけ、実施することが適当とされる場合には、当該活動に DAAS が協力、連携することを検討する。

3. DAAS ウェブのセキュリティについて

- 掲載データの知的財産権保護への配慮として、DAAS ウェブサイトでは、全てのコンテンツに対して「電子透かし」を入れ、インターネット上に流れるコンテンツを定期的に監視するサービスを利用している。第三者が WEB 上で不正利用していた場合、その情報を自動入手し、DAAS が不正利用者へ注意喚起することが可能なシステムを導入し不正利用に対する抑止と証拠保全を行っている。オリジナルの高精細画像（4000×4000pixel）は収録のみとし、閲覧には、前述の「電子透かし」をいれた登録会員用 QGVA データ（320×240pixel）と管理者閲覧用 XGA データ（1024×768pixel）を用意している。ただし、サムネイル画像(80×60pixel)については技術的に電子透かしの挿入は行えない。(基本的にはサムネイル相当画素数の画像の不正利用による被害は、無視できる範囲内と考えられる。)
- HTTPS プロトコルによる、画像データやアカウント情報の盗聴防止（WEB 通信方式によるセキュリティー確保）
- DB サーバに保存されている写真データの提供は、WEB サーバ経由に限定しているため、第三者のアクセス権限を適切にコントロールしている。
- 外部 Web ページにおいて DAAS-WEB に収録されている資料が引用できるような を実現する事で、不正に利用しなくても知的財産権を守りながら資料を活用できる機能を系統的に用意（キュレータ機能）

特集・連載企画 （案）

DAAS ウェブの新企画として、アーカイブの資料を使った特集コラム・連載記事を検討。以下2本を5月掲載目標として進行中。

- ・若手建築史研究者による「DAAS 収蔵写真について」のリレーコラム
- ・「アーカイブについて」ぽむ企画平塚かつらさんの連載記事

- 1) 建築史研究者などのコラムを5月より掲載開始予定。各月1名×6名1500字程度で「DAAS 収蔵データから〇〇〇の建築について」というテーマの寄稿を依頼。次号執筆者を紹介して頂く「リレー式」コラムが特徴。初回を五十嵐太郎氏に依頼、次号については、現在、斉藤理氏の紹介を受けている。
- 2) ポム企画平塚かつらさんへ「アーカイブスについて」の寄稿を依頼。テーマ、原稿の内容が決まり次第、正式に執筆依頼をする予定。

以上

執筆依頼書

2008年4月7日

五十嵐 太郎 様

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム事務局
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-2
株式会社新建築社内
TEL : 03-3816-5581
FAX : 03-3811-0234
e-mail : daas@japan-architect. co. jp

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム（DAAS）では、ウェブの新規コンテンツとして、建築史の研究者等のリレーコラムを企画することとなりました。

つきましては、五十嵐様に、下記の原稿のご執筆をお願いしたくご連絡申し上げる次第です。ご多用中誠に恐縮ですが、なにとぞご承諾下さいますようお願いいたします。

尚、ご承諾戴けます場合は、お手数ですが別紙承諾書へご記入の上、4月20日までに返信下さいますようお願いいたします。

敬具

記

テーマ : 「DAAS 収蔵データから〇〇〇の建築について」※変更いただいて構いません。

文字数 : 1500字程度

執筆にあたってのお願い :

- ・ 原則として DAAS Web (<http://www.daas.jp>) よりいくつか写真データをお選び頂き、それをもとに執筆頂けましたら幸いです。写真データについては、資料番号をお知らせください。
- ・ その他の画像等を原稿に添付いただく場合につきましては、著作権の問題にならないものをお願い致します。
- ・ また、今回の企画は、リレーコラムとして、五十嵐様を引き継いで、次回にご執筆頂ける建築史の若手研究者の方等のご紹介をお願いすることといたしております。どなたか、ご了承をおとりいただいた上で、ご紹介頂きますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

掲載開始予定日 : 5月中旬

掲載ページ : 特集ページ

原稿締切日 : 4日末日迄に原稿を事務局宛メールにて送付願います。
mailto:info@daas.jp

校正 : 原稿をウェブに掲載する画像イメージができた段階で校正のお願い
(問題が無ければ1回を原則。)をいたします。

執筆料 : 10,000 円×1回 =合計 10,000 円 (所得税引後)
(入稿確認後、ご指定の金融機関口座にお振り込みいたします。)

以上

承諾書

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム事務局行

DAAS ウェブ (<http://www.daas.jp> 掲載欄:特集ページ) の原稿執筆について依頼書の通り承諾します。

平成 年 月 日

住所：

氏名：

※執筆料受取銀行口座

- ・金融機関名： 銀行 支店
- ・口座種別： 普通・その他（ ）
- ・口座番号：
- ・口座名義：

【ご略歴】

※ よろしければウェブ上でご紹介させていただく簡単なプロフィールをお教え下さいますれば幸いです。別紙でも構いません。

【次号の執筆を了解いただいた方のご指名・ご連絡先】

ご氏名：

ご職業：

ご連絡先：

特集企画 VIDEO 掲載報告・撮影予定

	掲載ページ	出演(予定)	内容	作成年月日
1	活動紹介 ビデオ	日本建築学会会長 村上周三氏 日本建築士会連合会会長 宮本忠長氏 新建築社 取締役社長 吉田信之氏 東京藝術大学 名誉教授 奥村昭雄氏 ライト建築アーカイブス日本 代表理事 森晃一氏 日本放送協会マルチメディア局長 上田千秋氏 ライト建築アーカイブス日本 副代表理事 南迫哲也氏 建築家 Richard Rogers 氏 隈研吾氏		2005年10月
2	特集企画	榎文彦氏 (DAAS 理事長)	インタビュー 代官山ヒルサイドテラスの空間を語る	2006年12月
3	イベント報告	菊竹清訓氏	4k 映像システム 高精細建築画像のタベ	2007年5月
4	イベント報告	撮影取材	清家清作 「宮城教授の家」	2007年5月
5	イベント報告	デジタル卒業設計大賞 2007	応募作品一覧	2007年9月
6	イベント報告	デジタル卒業設計大賞 2007 隈研吾氏 講評会	受賞者との懇親会風景	2008年3月
7	特集企画	(池原義郎氏)	(作品を語る)	2008年5月 撮影予定
8	特集企画	(林昌二氏)	(作品を語る)	2008年6月 撮影予定
9	特集企画	(難波和彦氏: DAAS 理事)	(作品を語る)	2008年7月 撮影予定
10	特集企画	(古谷誠章氏: DAAS 理事)	(作品を語る)	2008年7月 撮影予定

○ DAAS Now & Then 撮影ツアー

日 時：2008年2月21日（木） ～ 22日（金）

撮 影：DMC 機構 研究員 亀村文彦、高山さやか、山口真里

事務局：大久保、武藤

・ DAAS 収蔵データの現状を撮影する都内ツアーを行った。

2月21日（木）10：00～ 慶應義塾大学三田キャンパス集合
収蔵データの建物が集中する、丸の内をスタート地点とし、大手町、日比谷方面へ徒歩移動しながら午後まで撮影を行う。DAAS ウェブの収蔵データのアングルを PC 画面にて確認しつつ、現在の建物の状況、周辺の状況等、撮影を行った。その後千代田区方面へ移動。車移動をしながら、内幸町、九段、紀尾井町の撮影で夕暮れとなり、終了。〈建築数13件〉

2月22日（金）10：00～ JR 四谷駅麹町口にて集合
中央区、港区、新宿区を中心に撮影予定をたて、車にてまず銀座へ移動。移動時間、ルートを考えながら、撮影候補地をランダムに回る。2日目は主に移動時間の短縮を図り、車を動かしながら撮影。築地で昼食をとる。午後から港区方面へ移動。最終的に新宿の高層ビル群まで移動したが、夕暮れのため、撮影終了となる。〈建築数15件〉

以 上

2/21(木) 撮影箇所		住所	設計		
1	日本興業銀行 (現みずほ銀行丸の内中央支店)		東京都千代田区丸の内1-3-3	村野藤吾設計	00002553 00002554 00002555 00002556 00002557 00002560 00002561
2	三和銀行東京ビル (現三菱東京UFJ銀行 新丸の内支店他)		東京都千代田区大手町1-1-1	日建設計/大阪	00026269 00026270 00026271 00026272 00026273 00026274 00026275
3	三井物産ビル		東京都千代田区大手町1-2-1	日建設計/東京 担当:林昌二 小倉善明	00024615 00024616 00024617 00024619 00024620 00024621
4	東京海上ビルディング本館 (現東京海上日動火災保険株式会社)		東京都千代田区丸の内1-2-1	前川國男建築設計事務所	00002887 00002888 00002889 00002890 00002891 00002892 00002893
5	東京会館		東京都千代田区丸の内3-2-1	谷口吉郎設計	00001983 00001984
6	帝国劇場		東京都千代田区丸の内3-2-1	谷口吉郎設計	(00026646)(内観) (00026647)(内観) (00026648)(内観) (00026649)(内観) (00026650)(内観) (00026651)(内観) 00026652
7	東京駅		東京都千代田区丸の内1-9-1		00027070
8	朝日東海ビル (現朝日生命大手町ビル)		東京都千代田区大手町2-6-1		00001741
9	大阪ビルヂング 東京支店 (現存せず 現日比谷ダイヤビル)		東京都千代田区内幸町1-2-2		00027080 00027081 00027082
10	日本プレスセンター		東京都千代田区内幸町2-2-1	日建設計/東京 担当:林昌二 三浦明彦	00024820 00024821 00024825 00024826 00024827 00024828
11	東京堂千代田ビルディング		東京都千代田区九段南1-3-1		
12	ホテルニューオータニ		東京都千代田区紀尾井町4-1		00001329
13	ホテルニューオータニタワー 新館		東京都千代田区紀尾井町4-1		00003215 00003216 00003217 00003218 00003219 00003220

2/22(金)撮影箇所		住所	設計		
1	中銀カプセルタワービル		東京都中央区銀座8-16-10	黒川紀章建築・都市設計事務所	00026293 00026294
2	ヤクルト本社ビル		東京都港区東新橋1-1-19	圓堂政嘉設計	00002476 00002477
3	電通本社ビル (現 電通テックビル)		東京都中央区(築地1-11-10)		00001593 00001594
4	読売(そごう百貨店東京支店) (現ビックカメラ有楽町本店館)		東京都千代田区有楽町1-11-1	村野藤吾設計	00026981 00026982 00026983
5	ソニービル		東京都中央区銀座5-3-1	芦原義信建築設計研究所	00027691 00027692 00027693 00027694
6	静岡新聞・静岡放送ビル		東京都中央区銀座8-3-7	丹下健三+都市・建築設計研究所	00001590 00001591
7	築地本願寺		東京都中央区築地3-15-1	伊東忠太設計	
8	港区スポーツセンター				00025875 00025876
9	日本赤十字社本社ビル		東京都港区芝大門1-1-5 (港区芝大門1-1-3)		00000014 00000015 00000050 00000051 00024088 00024095 00024096
10	ノア・ビル		東京都港区麻布台2-3-5	白井晟一構想	00002516 00002517 00002518 00002519 00002520 00002521 00002522
11	霊友会釈迦殿		東京都港区麻布台1-7-8		0002518 00025181
12	NCRビルディング		東京都港区虎ノ門(赤坂1丁目2番2号)	日本財団ビル	00026804 00026805 00026806
13	富士フィルム東京本社ビル		東京都港区西麻布2-26-30		00001642 00001643
14	フロム・ファースト・ビル		東京都港区南青山5-3-10	山下和正建築研究所	00025036 00025037 00025041 00025042 00025043 00025044 00025045
15	青山タワービル		東京都港区南青山(2-24-15)		00027632

執行額内訳

科目	デジタル卒業設計事業	Now & Then 撮影ツアー事業
事業費		
旅費・交通費	¥123,470	¥3,200
広告費	¥60,000	
固定資産	¥170,000	
新聞図書費		¥840
車両費		¥2,619
賃貸料		¥19,950
その他		¥10,984
管理費		
通信費	¥28,470	
消耗品費	¥16,786	
その他	¥105	
計	¥398,831	¥37,593

○ DAAS 卒業設計大賞 2007

日 時：2008年2月19日（火）14:00～16:00

場 所：隈研吾建築設計事務所

出席者：DAAS 賞選考委員 隈研吾氏

受賞者：7名

事務局：南運営委員会副委員長、中田、大久保、武藤

概 要：

昨年9月、デジタルデータによる一般への公開を前提とした公募形式による若手建築家・デザイナーの卒業設計の表彰イベントを企画。2007年3月までに提出された卒業設計を応募した。

2008年1月18日（金）に行われた運営委員会で、事務局より選考された7作品を上映。正式にデジタル卒業設計大賞 DAAS 賞として7作品が承認された。

2008年2月19日（火）受賞者7名を招待し、DAAS 賞選考委員・DAAS 賞理事の隈研吾氏の事務所にて応募者本人による作品のプレゼンテーションと懇親会が行われた。

懇親会当日の報告：2008年2月19日（火）、港区青山の隈研吾建築都市設計事務所に受賞者7名、隈研吾氏、事務局担当者4名が集まった。

14時開会。まず、事務局よりデジタル卒業設計大賞開催の主旨説明を行う。DAAS 運営委員会の副委員長である南氏の挨拶。続いて隈研吾氏より挨拶を頂く。プレゼンテーションは各受賞者がPCを使い、モニターに作品上映をしながら作品説明を行う形となった。各受賞者の作品に対し隈氏からそれぞれに講評を頂く。全作品の上映後、隈氏より全体講評と「デジタルの特性を生かしたプレゼンテーション」についての意見を頂く。その後、受賞者へ賞状の授与、また「隈賞」作品を選出し記念品を授与した。表彰終了後、受賞者、隈氏、事務局を交えて質問、意見交換など、自由な形での交流の場をもうけた。

以上

DAAS デジタル卒業設計大賞 2008

募集要項

2008年3月31日(月)

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)¹は、これからの建築界で活躍が期待される若い学生・建築家・デザイナーの卒業制作作品を対象とした「デジタル卒業設計大賞 2008」を開催いたします。

本大賞は、デジタル化した建築資料の積極的な公開と活用によって建築文化の浸透と発展を目指す DAAS の活動の一環として開催されます。「自由な発想とデジタル技術を駆使して、自身の卒業設計を表現すること」を目的とし、建築作品としてだけではなくインターネットを通じたデジタルツールによる作品表現という点も合わせて評価を行う特徴的な表彰イベントです。

第2回目となる「DAAS デジタル卒業設計大賞 2008」は、選考委員として DAAS 理事であり建築家の六角鬼丈先生をお招きしています。

デジタルツールの特性を生かした、意欲と創造性にあふれる魅力的な作品をお待ちしています。奮ってご応募ください。

募集作品

作品は以下の要件を満たしているものを対象とします

- 2008年3月末までに大学・大学院・建築系教育機関を卒業、あるいは修了する際に制作された卒業・修了制作作品であること
- インターネット上に公開され Web ブラウザで閲覧可能な Web サイトであること
- 1人または1グループ1点とする（グループの場合、メンバーもしくは代表者が同じであれば1点のみとし、応募後の名前の変更は認められない）

¹ 我が国の優れた建築物に関する図面や写真などの資料や建築家自身による解説などをデジタル化して収録し、インターネットを通じて積極的に公開することで、未来へ継承することを目的として設立されたコンソーシアム。

参加資格

参加者は以下の要件を満たしていることとします

- 2008年3月末までに大学・大学院・建築系教育機関を卒業、あるいは修了していること（応募時点での学生、一般の別は問わない）
- 個人・グループの別は問わないが（グループの場合は代表者を明記すること）応募者（グループの場合は代表者）は DAAS メンバーであること（DAAS メンバーへの登録（無料）は随時可能）

応募方法

本大賞に関わる応募・審査・通知は全て WWW (World Wide Web) 上で行います。応募は DAAS Web サイト(<https://www.daas.jp/>)のトップページに掲載される「DAAS デジタル卒業設計大賞 応募フォーム」より必要事項を登録します。2007年度とは応募方法が異なりますのでご注意ください。

応募受付期間は、**2008年6月2日(月)**から**2008年9月30日(火)**までとします。

応募者は作品をインターネット上で閲覧可能にし、作品のタイトルなどの情報と共にその URL (アドレス) を応募フォームにご記入下さい。なお、登録後、全ての作品は DAAS Web サイト上に制作者名・作品名・トップページのサムネイル画像などから登録した URL へのリンクを行い一覧・公開されます。

審査は一般的な Web ブラウザを用いて一律に行われます (Microsoft 社 Internet Explorer および Mozilla プロジェクト Firefox など) ので、別途プラグインなどが必要な場合は、閲覧時にダウンロードを促す記述等、必要な対策を講じてください。なお、表示するパソコン画面の解像度は XGA(1024x768)以上を前提としてください。

Web サイトとして公開可能なスペースをご自身で準備できない場合は、DAAS 事務局にご相談ください。

審査方法および結果通知

審査は二段階に分けて行われます。応募者作品の中から数点を入選作品として選抜し、結果を応募者に電子メールにて告知すると共に DAAS Web サイト上で公開します。その後、選考委員を交えた入選者の懇親会²を開催し、その場で講

²入選者には懇親会参加費用として日本国内の往復交通費（実費）が支給されます

評と表彰が行われます。

表彰は、本大賞の趣旨に従い「卒業設計で制作した建築に関する評価」「Web サイト上で利用可能なデジタル化による様々な表現手法に関する評価」の二つの観点より美術的表現力、創造力を審査して行われます。建築物として優れた作品には「優秀建築作品賞」を、Web サイト上の表現に優れた作品には「優秀 Web 表現賞」を、総合的に最も優れた作品には選考委員より「デジタル卒業設計大賞 六角賞」が授与されます。

入選した作品は DAAS Web サイトへ収蔵され公開されます。また、懇親会の模様はビデオ映像として公開する予定です。

なお、2007 年度の受賞作品と講評コメントについては、DAAS Web サイトにて公開しています。ぜひ参考にして下さい。

DAAS: イベント報告 デジタル卒業設計大賞 2007

受賞作品一覧

<https://www.daas.jp/prize/result2007.php>

懇親会の様子

<https://www.daas.jp/prize/2007/party2007.php>

選考委員

六角鬼丈（建築家・東京藝術大学美術学部長・DAAS 理事）

DAAS 運営委員

アドバイザー

榎 文彦（建築家・DAAS 理事長）

応募作品の発表と著作権について

審査および審査結果の発表などのために、応募作品を DAAS Web サイトに掲載、公開する権利、あるいは複製、印刷、展示、出版する権利については DAAS コンソーシアムが保有し、応募者は無償でこれを承諾するものとします。作品の著作権は応募者に帰属します。結果発表後、DAAS Web サイトにて応募作品（一部あるいは全部）をアーカイブとして収蔵・保管し、公開することも予定しています。この際、応募者の氏名・所属を公開させていただきます。

注意事項

1. 応募作品に収録されているいかなる内容も、他人の権利を侵害するようなものであってはいけません(著作権、商標権、肖像権などの諸権利等)。審査発表後にこれらの侵害やその疑義が発覚した場合の全責任は、応募者が負うこととします。これらの侵害の恐れがある場合は、主催者の判断によって応募を拒否したり入選を取り消したりする場合があります。
2. 応募作品はインターネット上で公開されますのでご留意の上ご応募ください。なお DAAS Web サイトへの収録に際し変更をお願いする場合があります。
3. 応募に関する質問は DAAS 事務局までお問い合わせ下さい。お問い合わせのあった内容につきましては DAAS Web サイトで回答も併せて掲示する場合があります。
4. ご自身の Web サイトへのアップロード方法などについて事務局からご案内することはできません。
5. 記述が不十分などの理由により応募者の意図したとおりに表現できない場合は審査時に減点の対象、または審査対象外となるおそれがあります。
6. 自分の意図したように作品が閲覧できるかどうか、様々な環境で確認して作品を構築することを、強く推奨します。なお事務局でどのように閲覧できているかのお問い合わせには一切お答えできません。
7. DAAS Web サイトで公開された作品の内容、作品に起因するトラブル等に関しまして、DAAS および事務局は一切責任を負いません。

個人情報の取り扱いについて

応募者からメンバー登録以外に取得した個人情報については、DAAS 事務局からの事務連絡に使わせていただきます。また、本大賞の審査から結果発表の過程で、ご登録いただいた氏名・所属先や年齢などを選考委員に開示させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

問い合わせ先

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS) 事務局
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-2 株式会社 新建築社 内
Tel 03-3816-5581 / Fax 03-3811-7112
E-mail: award2008@daas.jp

DAAS デジタル卒業設計大賞2008

設計の「建築」としての魅力を
デジタルならではの手法を活用して表現！

建築資料： 1115 件

関連資料： 2763 件

メンバー登録をすれば、DAASの様々な機能をご利用いただけます。



特集企画

おでかけダースの
建築旅日記

第3回
PL学園幼稚園

» この特集を見る

» 特集企画 目次

▼ 指定してください

---- 年から

---- 年まで

検索する

[詳細検索](#)

- 2006/08/09 [クリスタル・パッケージ・ハウス](#)
- 2006/08/09 [林邸 1963](#)
- 2006/08/09 [大学村の教授の住宅 入選1席](#)
- 2006/08/09 [〈生の生産〉の器としての〈いえ〉はどうあるべきか 優秀作品](#)
- 2006/08/09 [わがスーパースターたちのいえ 2等案](#)

- 08/04/1 デジタル卒業設計大賞2008の[応募要項](#)(PDF版: 152KB)を公開しました。今年度は昨年度と異なり、作品提出形式を「インターネット上のWebサイト」のみとなっております。詳細は応募要項をご覧ください。
- 08/3/15 デジタル卒業設計大賞2007の[受賞作品一覧](#)と[隈研吾理事との懇親会の様子](#)をアップいたしました。(ログインが必要です)。
- 07/12/1 イベント報告の映像作品など掲載しました。今回アップした作品は、「4k映像システムによる大画面・高精細建築画像のタペ: 菊竹清訓先生をお招きして」「宮城教授の家」撮影取材・「デジタル卒業設計大賞」応募作品一覧ムービーです。[特集企画の目次ページ](#)よりおすすめください(ログインが必要です)。
- 07/10/27 10月26日(金)、第2回年次総会が無事終了し、新年度の予算、事業計画が承認されました。[議事録等を掲載](#)いたしました。

[一覧](#)

建築に関する任意のテーマについて、皆さんで意見を交換するための場です。

[DAASコミュニティ](#)

DAASは以下の組織のご協力・ご支援により運営されています。

このページのトップへ	<p> 鹿島建設株式会社 株式会社 浅沼組 株式会社 大林組 株式会社 奥村組 株式会社 久米設計 株式会社 熊谷組 株式会社 建築資料研究社 株式会社 新建築社 株式会社 竹中工務店 株式会社 日建設計 株式会社 日本設計 株式会社 山下設計 株式会社 連合設計社市谷建築事務所 慶應義塾大学 国土交通省 興和不動産株式会社 財団法人 日本建築センター 五洋建設株式会社 社団法人 住宅生産団体連合会 清水建設株式会社 社団法人 日本建築家協会 社団法人 日本建築学会 社団法人 日本建築士会連合会 社団法人 日本建築士事務所協会連合会 社団法人 建築業協会 住友不動産株式会社 積水ハウス株式会社 大成建設株式会社 東京建物株式会社 富士ハウス株式会社 前田建設工業株式会社 三井不動産株式会社 三菱地所株式会社 </p> <p>(2007年12月1日現在、50音順)</p> <p style="text-align: right;">一覧</p> <p> その他のDAAS関連サイト 国内の建築アーカイブ </p>	
----------------------------	---	--

せんだいデザインリーグ2008 卒業設計日本一決定戦

[サイトマップ](#) | [お問合せ](#) | [ENGLISH](#)

147組…日本大学 / 141組…筑波大学 / 139組…千葉大学 / 89組…芝浦工業大学 / 70組…茨城大学 / 61組…早稲田大学 / 59組…大阪大学 / 57組…下関大学 / 51組…東北大学 / 49組…筑波大学 / 48組…北海道大学 / 44組…神戸大学、明治大学 / 43組…千葉工業大学 / 41組…名古屋工業大学 / 39組…前橋工科大学 / 38組…新潟大学、武蔵野美術大学 / 37組…京都大学、尾道国立大学（現、首都大学東京） / 36組…富山県立大学 / 34組…武蔵工業大学 / 33組…関西大学、東海大学 / 32組…東北芸術工科大学 / 29組…東洋大学 / 27組…宮城大学 / 26組…東京工業大学、琉球大学 / 25組…大阪大学 / 24組…広島大学、東京電機大学、北海道工業大学 / 22組…立命館大学 / 21組…信州大学、京都工芸繊維大学、室蘭工業大学、東北工業大学 / 19組…昭和三十九年入学生、大阪市立大学、名古屋市立大学 / 18組…大阪芸術大学、名古屋大学 / 17組…京都造形芸術大学、山形大学、筑波川大学 / 16組…筑波学院女子大学、滋賀県立大学、神戸芸術工科大学、東京工業大学 / 15組…国際学院大学、岡山県立大学、多摩美術大学、大阪工業大学 / 14組…金沢工業大学 / 13組…筑波大学、名城大学 / 11組…中部大学、東京家政学院大学、福井大学 / 10組…信州大学、東京藝術大学、日本女子大学、福井工業大学 / 9組…静岡文化芸術大学、大同工業大学、東北文化学園大学 / 8組…九州芸術工科大学（現、九州大学）、九州大学、長岡工業大学 / 7組…愛知淑徳大学 / 6組…奈良女子大学、江戸工業大学、文化女子大学 / 5組…関東学院大学、広島工業大学、筑南大学、福山大学 / 4組…京都精華大学、日本文芸大学、短路工業大学、福岡大学 / 3組…おのつくり大学、愛知工業大学、愛知産業大学、熊本大学、鹿児島大学、秋田県立大学、新潟工科大学、成安造形大学、東京造形大学、日本工業大学、武蔵川女子大学、豊橋技術科学大学 / 2組…金沢美術工芸大学、三浦大学、人間環境大学、京城大学、西日本工業大学、宝塚造形芸術大学、名古屋造形芸術大学

総応募者数 2347組

日本一 5人

[卒業設計日本一決定戦とは？](#) | [開催情報](#) | [出展情報](#) | [よくある質問](#) | [協賛企業](#) | [リンク](#)

▼ニュース

- 2008.03.11 [審査結果を公開しました。](#)
- 2008.03.05 [「オンライン出展者紹介」ページを公開しました。](#)
- 2008.03.05 [「総合資格学院」様の広告を掲載しました。](#)

[>>過去のニュースはこちら](#)

▼ログイン

出展者用
メンバーズページ

※応募登録の受付は終了しました。
(PRページの作成・編集は可能です。)

▼協賛企業

建築士・宅建受験の名門
総合資格学院

Master Designers
マスターデザイナーズ株式会社

デジタル卒業設計大賞 2008

▼主催

smt 仙台建築都市学生会議

smt せんだいメディアテーク

© 2007-2008 仙台建築都市学生会議

▲トップイメージは、過去5年の大学別合計出展者数(背景画像: 昨年の公開審査会場)

審査結果

▼目的別メニュー

[作品を出展したい](#)

[公開審査を閲覧したい](#)

[作品展示を見たい](#)

▼関連コンテンツ

[オンライン出展者紹介](#)
出展者のプロフィールや
模型写真等が閲覧できます。

[せんだい建築マップ](#)

▼特別企画

[梱包日本一決定戦](#)

[歴代入賞作品
パネル・ポートフォリオ展
+ 歴代受賞者インタビュー](#)

「企画部会」設置のご提案

<資料4>

2008年4月25日

DAAS事務局

事務局より運営委員会に対しまして「企画部会」の新規設置をご提案申し上げます。

この「企画部会」は、DAAS本来の事業活動を推進するための議論や連携の場として、またDAASの様々な取り組みについての企画・立案の場として、継続的に運営していく環境を創りたいという思いから、運営委員からのご参画をお願いするものであります。

DAASは「貴重な建築関係資料をデジタル化して収集・公開することで、我が国の建築文化を未来に受け継ぐ」ことを趣旨とし、ご賛同いただいた企業会員・団体会員・個人会員の皆様のご理解とご支援のもと活動を進めて参りました。設立2年目を迎える今年度は、コンテンツの充実をはかるべく「建築家による作品解説ビデオ」や「卒業制作設計大賞」、「若手建築史研究者によるDAAS収蔵作品に関するリレーコラム」、「建築アーカイブを題材とした連載記事」などの新たな企画が展開されることになっております。

これまで、これらの活動は運営委員会のご承認のもと三塩運営委員長・南運営副委員長を含む事務局の中で進めて参りました。しかし、現在の事務局は、数名の有志ボランティアによって支えられているのが実情で、慢性的な人手不足のため活動を広げることに限界を感じているところです。また、開かれたコンソーシアム運営という観点で考えると、現状は会員の皆様の声を必ずしも反映しやすい体制とは言えないと思います。

これらの反省を元に運営委員会の内部組織として運営委員会メンバーによる「DAAS企画部会」を設置し、既存事業の発展と新たな企画を立案・実施を推進することをご提案することとさせていただきます。

目的

DAASが行う「コンテンツ拡充」「DAASウェブの周知」につながる事業の検討

活動内容

目的を実現するための新規事業の提案（実務的な部分は事務局がサポートします）

既存事業の見直しと発展を目指した提言・検討

DAAS会員向け事業の企画立案

メンバー

DAAS運営委員会メンバーからの互選あるいはメンバーの推薦による

※ 定期的な開催による議論、ならびに提案された事業プランを実践するため

1年を1期として複数期間活動できる方が望ましい

表彰事業の受賞作品に関する資料の収蔵について (国庫補助事業の活用の検討)

○経緯

DAAS においては、コンテンツの充実策として、会員団体が行っている建築物の表彰事業における新規受賞作品のデータを毎年収蔵することについて基本的な了解を得て、表彰事業の公募段階において、応募資料が DAAS により活用される場合があることを要領に明示するなどの協力をいただいているところである。

当初は、表彰事業の応募資料をそのままデジタル化し、収蔵することを想定していたが、応募資料は紙媒体でつくられ、資料をスキャンした場合、必ずしもコンテンツとして望ましい画質を確保できないこと等も明らかになった。DAAS 収蔵資料の質を確保する上では、改めて、受賞者とコンタクトをとり、応募資料の原画等のデータ提供を要請する等の必要性が認められた。なお、過去の表彰物件については、当初より、受賞者とコンタクトをとりつつ進めることしていた。

しかしながら実際に、受賞者とコンタクトをとり、原画の貸し出しを受け、原画の権利関係の確認を行い、高解像度のデジタルコピーを作成し、サーバーに収蔵し、ウェブで紹介するという一連のワークに対応するには、相当の時間を要する作業が想定されることから、これまで DAAS 事務局は作業に踏み切れず中断していた状況にある。

こうした状況において、今般、国交省から、長期に残したい街並み、建築及びその記録等に関する調査・広報活動等を行う団体に対する補助事業（数百万程度／団体）の実施を検討しているという情報がよせられたところである。

○ 対応（案）

- ①士会、事務所協会、JIA 他の会員団体と DAAS 事務局において上記補助金等の活用の可能性を検討し、活用可能であれば交付申請を行い、コンサル等を活用して集中的に一定量のデータをデジタル化し収蔵する。
- ②この際、受賞作品の建築写真の入手が困難な場合等は、建築写真家協会と連携し、現在写真の撮影等を行うことも検討する。